

西暦	年号	当社技術事項
1927	昭和2	自動車及び各種高速機械用ブレーキライニングの製造を目的として日本ブレーキライニング製作所を設立
1929	昭和4	石綿ジョイントシート及び各種パッキンの研究を開始
1930	昭和5	クラッチフェーシングの生産を開始
1931	昭和6	石綿ブレードパッキンの生産を開始 ハイテスライニングの生産を開始
1932	昭和7	石綿スパイラルパッキンの生産を開始 布入りゴムモールドの研究試作を開始 積層式ジョイントシートの生産を開始
1933	昭和8	海軍艦政本部より特殊高温・高圧用金属パッキンの研究を依頼される 積層式石綿ジョイントシート(No. 902,305,1000)の生産を開始
1934	昭和9	特殊高温・高圧用パッキン(No.1250)の研究を完了 特殊高温・高圧用パッキンが「海軍購買名簿」に登録される
1935	昭和10	日本初の大型石綿ジョイントシート製造装置(120インチ用)を設置 圧搾大型石綿ジョイントシートの試作を開始
1936	昭和11	合成ゴム加工の研究を開始
1937	昭和12	合成ゴムパッキンが日本最初の製品として世界一周の神風号に装備される シール用潤滑剤(第一号)の生産を開始
1939	昭和14	多硫化系合成ゴム「ヒタコール*1」を入手、耐油性パッキンの研究を開始
1941	昭和16	航空機用合成ゴムパッキン、石綿ジョイントシートの生産を開始
1943	昭和18	陸軍燃料廠より「製油装置用パッキン」の研究を委嘱される 航空機用パッキンの生産を開始 国家総動員法第25条の規定により、「発電用高温・高圧パッキン」の研究試験を命ぜられる 燃料工業用金属ガスケットの製造を開始
1947	昭和22	ピストンバルブの製造を開始
1949	昭和24	塩化ビニール樹脂の成型加工法を完成、販売を開始 石綿モールブレードパッキンの新編組法の研究に着手 通商産業より「高温・高圧・過蒸気用パッキン」の研究を委嘱される
1950	昭和25	新編組法の研究に成功、モールブレード(格子編)パッキンの生産を開始 通商産業委嘱の「高温・高圧・過蒸気用パッキン」の研究を完了
1951	昭和26	軸承油止めの合成ゴム製オイルシールの研究を完了 珪素ゴムの加工研究を開始 テフロン*2パウダーをアメリカより輸入、テフロン成型加工法の研究を開始 Oリングの研究を開始
1952	昭和27	テフロンの加工技術に関する研究を完了、「バルフロン®」として加工、販売を開始 合成ゴム製オイルシールの生産を開始 金属片うず巻ガスケットの研究を完了、「バルカタイト」として生産、販売を開始
1953	昭和28	回転機用「メカニカルシール」を完成し、生産、販売を開始 「珪素ゴム、テフロンを主材とする航空機用パッキンの性能研究」に関して通商産業省より補助金を交付される
1954	昭和29	Oリングの生産、販売を開始
1955	昭和30	「ポリ四ふっ化エチレン加工製造技術」に関し、通商産業省より補助金を交付される
1956	昭和31	テフロン表面処理接着性テープの生産、販売を開始 テフロン押し出し機を輸入、薄肉チューブ、ホース及び被覆電線の研究を開始 ふっ素ゴム製品の生産、販売を開始 ジェット戦闘機(F-86)用合成ゴムパッキンが、我が国ではじめて採用される
1957	昭和32	通商産業省により「ポリ四ふっ化エチレン加工製造法」に関する工業化試験の完了を認定される 技術PR誌「バルカーレビュー」創刊
1958	昭和33	コンバインドリップリングパッキン(No.2800)の生産、販売を開始

西暦	年号	当社技術事項
1959	昭和34	ねじ継手用シール「テープシール」の生産、販売を開始
1960	昭和35	バルフロン <sup>®</sup> ガラスクロス(No.7920)の生産、販売を開始 ボールバルブの生産、販売を開始
1962	昭和37	超高分子量ポリエチレン(ホスターレンGUR <sup>*3</sup> )製品の生産、販売を開始、商品名「バルレン」
1963	昭和38	テフロン潤滑剤「スプレーワックス」(「ユノンS」)の生産、販売を開始
1964	昭和39	日本で最初のテフロン繊維を開発し、生産、販売を開始 世界最大(400mm)のバルフロン <sup>®</sup> 大口径パイプが完成
1965	昭和40	独国エラストマーAGとの合併による日本エラストン(株)設立、熱可塑性ポリウレタン エラストラン <sup>*4</sup> の生産、販売を開始 「バルフロン <sup>®</sup> コードシール <sup>®</sup> 」の生産、販売を開始
1966	昭和41	米国デュラメタリック社との技術提携、デュラシールの生産、販売を開始
1967	昭和42	新開発の耐火被覆材「リフライト」が建設省の認定を受ける 米国ディナー社とバルブシールに関する技術提携を結ぶ 高温用金属被覆「バルフロン <sup>®</sup> ベローズ」の生産、販売を開始
1968	昭和43	カーボン繊維ブレードパッキン(No.97-CT、現No.6232)の生産、販売を開始 攪拌機用メカニカルシールの標準化が終了し、生産、販売を開始
1969	昭和44	「純バルフロン <sup>®</sup> ペースト」の生産、販売を開始 ダクト用フレキシブルコネクタ 「フレクター <sup>®</sup> 」の生産、販売を開始
1970	昭和45	メタル中空リングの生産、販売を開始
1971	昭和46	バルフロン <sup>®</sup> 粉末パッキン「フロロタイト」の生産、販売を開始 米国石油協会標準 API standard 6Dに該当するボールバルブ API認定マークの表示を許可される バルフロン <sup>®</sup> ライニングボールバルブの生産、販売を開始 DOH式及びMS式ガス除害装置の販売を開始 熱交用枝付うず巻きガスケット「熱交用枝付バルカタイト」の生産、販売を開始 ファイアセーフボールバルブの生産、販売を開始
1972	昭和47	空調機用フレキシブルチューブ「バルフレキ」の販売を開始 エラストランラミネートフィルムの生産、販売を開始 新デザインのガスケットカッターの生産、販売を開始 「バルフロン <sup>®</sup> フローレスガスケット」の生産、販売を開始
1973	昭和48	完全湿式吹付「バルカウエット」を開発し、受注施工を実施 新デザインのパッキンツールの販売を開始 「バルフロン <sup>®</sup> 熱収縮チューブ」の生産、販売を開始
1974	昭和49	カーボン繊維を編組したグラウンドパッキン「ケミシール <sup>®</sup> 」の生産販売を開始 防音工事材料「ノイズダンパー」の生産、販売を開始
1975	昭和50	日本初の完全無給油パッキン「ノルバック <sup>®</sup> 」の生産、販売を開始 「非接触シールに関する応用研究」について通商産業省工業技術院より開発補助金の交付を受ける 防食石棉ジョイントシート(No.1500AC, No.1501AC, No.921AC)を開発し、生産、販売を開始 鹿島建設と共同でスチールファイバー混入軽量コンクリート板を開発 「耐熱、耐アルカリ性ガラス繊維の製造技術」について新技術開発事業団より開発委託を受ける
1976	昭和51	白石綿製の耐酸石棉ジョイントシート(No.1000)を開発し、生産、販売を開始 「シラスのガラス繊維を用いる耐熱・耐火建材製造に関する工業化試験」について通商産業省工業技術院より重要技術研究開発費補助金を交付される 英国TBA インダストリアルプロダクツ社と「防じん処理石棉布」の技術提携契約を締結
1978	昭和53	米国フロロウェア社とふっ素樹脂PFA射出成型技術、ふっ素樹脂トランスファー及び圧縮成型技術のクロスライセンス契約締結
1979	昭和54	半導体製造用に溶融ふっ素樹脂PFAのウエハキャリア容器・治具の生産、販売を開始
1982	昭和57	ノンアスジョイントシート <sup>®</sup> の生産、販売を開始 スプリング入りメタル被覆ガスケット「トライバック <sup>®</sup> 」の販売を開始
1983	昭和58	バルカーオイルシートの販売を開始

# 技術年表

西暦	年号	当社技術事項
1983	昭和58	アラミド繊維製回転軸用グラインドパッキンの販売を開始
1984	昭和59	「バルフロンクリスタルラバー <sup>®</sup> 」の販売を開始
1985	昭和60	石綿を使用しない製品を「ノンアス <sup>®</sup> 」として登録商標 各種ノンアス <sup>®</sup> 製品の開発を促進 「グリーンタイト」の販売を開始
1990	平成2	「バルフロン <sup>®</sup> セミリジット」同軸ケーブルの販売を開始
1993	平成5	「オールふっ素樹脂バーコード」が米国デュボン社よりプランケット賞受賞 奈良県五條市に奈良工場を新設、高機能ゴム製品の製造を開始
1994	平成6	「クリーンタイト <sup>®</sup> 」の販売を開始
1995	平成7	「複写機ロール用PFAチューブ」が米国デュボン社よりプランケット賞受賞 大容量現場施工タイプ・バルフロン <sup>®</sup> シートライニングタンクの販売を開始
1997	平成9	現場施工タイプ・バルフロン <sup>®</sup> ライニング大型タンクが米国デュボン社よりプランケット賞受賞
1998	平成10	液晶・半導体装置向け高純度ふっ素ゴムシール「ARMOR <sup>®</sup> シリーズ」(4種類)の販売を開始
1999	平成11	半導体製造装置及びFPD製造装置メーカー向け矩形ゲートバルブの販売を開始
2001	平成13	「バルカーレビュー」を発展的に継承する形態として、「バルカーテクノロジーニュース」を季刊誌として創刊
2002	平成14	電気二重層キャパシタ電極膜が米国デュボン社よりプランケット賞受賞
2004	平成16	耐熱型ノンアス <sup>®</sup> シートガスケット「ブラックハイパー <sup>®</sup> 」の販売を開始 中国の上海市に「ふっ素樹脂研究所(上海)」、「バルカーシール研究所(上海)」を設立
2005	平成17	石綿含有製品の生産を全面中止
2006	平成18	石綿含有製品の販売を中止 高温用バルフロン <sup>®</sup> ジャケット形ガスケット「No.N 7030(H)シリーズ」の販売を開始
2008	平成20	「ふっ素樹脂研究所(上海)」と「バルカーシール研究所(上海)」を「中国総合研究所(上海市に新設)」に統合
2010	平成22	延伸ふっ素樹脂(sa-PTFETM)事業の強化を目的としてバルメイ株式会社(本社 東京)を設立 中国総合研究所管下に中国メンブレン研究所を設立 ダイキン工業株式会社と中国におけるふっ素樹脂事業で資本・業務提携 白色充填材入りPTFEシートガスケット「ブライツハイパー <sup>®</sup> 」の販売を開始
2011	平成23	技術拠点「中国機能樹脂技術センター」を上海バルカーふっ素樹脂製品有限公司内に設立
2012	平成24	環境対策として結晶性シリカを非結晶性シリカに代替した「結晶性シリカフリーシリーズ」の販売を開始
2013	平成25	中国に伊国ガニフロン社との合弁会社アドバンス フロン テクノロジーズ(上海)を設立 充填材入りPTFEシートガスケット「ユニバーサルハイパー <sup>®</sup> 」の販売を開始 耐震対策ガスケット「No. 6596A」の販売を開始
2015	平成27	現代ガスケット概論発刊(著者:当社シニアフェロー 西田 隆仁)
2016	平成28	環境対策としてセラミックファイバーを他材料に代替した「RCFフリーシリーズ」の販売を開始 韓国の平沢市に「韓国応用研究所」を設立 発がん性の毒劇物を含有しない安全・環境に配慮した配合で非危険物に分類される「改良版シールペースト」の販売を開始

\*1 ヒタコールは株式会社日立製作所の商品名です。

\*2 テフロンは、デュボン社が製造するふっ素樹脂の商品名です。

\*3 ホスターレンGURはヘキスト社の商品名です。

\*4 エラストランは、ビーエーエスエフ ポリウレタンズ ゲーエムペーハー社の登録商標です。